

住宅リフォーム助成制度の来年度実施に向けての準備状況について



久松 猛 議員

質問 東日本大震災の被災者住宅支援の見通しが立った後、速やかに住宅リフォーム助成制度に移行するとなっていたが、その準備状況について伺います。

建設部長 住宅リフォーム助成制度は、地域経済対策として効果があることから、社会資本整備総合交付金事業の活用を前提に、導入の準備を進めていたが、東日本大震災の発生により、被災者への早急な支援の確立が必要と判断したこと、被災住宅等の修繕費の一部助成制度の創設を優先し、住宅リフォーム助成制度は、震災復興の見通しが立ってから導入したいと、議員の質問に答えてきました。

請があり、今後の状況を見て判断してまいりたいと考えています。

なお、住宅リフォーム助成制度に移行するための準備状況は、先進自治体の実施状況等を参考に、助成に必要な予算額や事務等の検討を行っており、要項についても順次策定を行いたい。

(掲載以外の質問事項)
・県から市への権限移譲の状況と効果及び支援について
・生活保護行政について

土浦協同病院について



松本茂男 議員

質問 新病院建設については、市、市とも、それぞれ補助金を負担している。土浦協同病院の場合、本市はどのように補助金を考えているのか伺います。

市長 土浦協同病院が救急医療や地域医療において果たしている役割は大きなものがあると認識をしている

が、これまでの経緯で、厚生連から、おおつ野移転に関しては、経営上、大丈夫だという話を、私は会議に出てお聞きしています。

それから、跡地について、診療所を残したいという話も聞いているので、厚生連から、これから具体的な話があるのだろうと思っています。

今後、土浦市でも合併特例債を利用した大型事業がめじろ押しで、恐らく、近い将来、公債費の比率が高まることは間違いないので、そういう大変厳しい財政事情も鑑みながら、市としての対応を考えていきたいと思っています。

なお、国の補助もいただきますが、12〜13億円程度のアクセス道路については、もう着工しているという話をさせていたただきたいと思います。

(掲載以外の質問事項)
・障害者福祉について
・体罰について

土浦市の封筒への広告や市の目玉事業等の掲載について



吉田千鶴子議員

質問 各市の封筒が、その土地のPRや市の進むべき方向を示し、広告の掲載により経費削減も図っています。本市の取り組みについて伺います。

市長 本市で使用している一般公用封筒は、平成5年度から使用開始したもので、霞ヶ浦の水面のきらめきと土浦市から全国に発信する情報の広がり、イメージ、ISO14001の認証取得のPR等、市のイメージアップの広報ツールとして役目を果たしてきたと考えています。

広報ツール機能を高める観点及び行政経費の削減といった視点から、一般公用封筒への広告掲載に合わせた封筒のリニューアルについて、本年度、本格的な検討を始めたところです。

広告代理店との協議では、広告掲載について、大きな課題はありませんが、目指すべき将来像、市民憲章、イベント情報等の掲載選択や封筒のレイアウト等、内部で解決しなければならぬ課題がございます。

早急に関係各課と連携し、知恵を出し合い、新庁舎移転を好機として捉え、封筒をリニューアルしてまいりたいと考えています。

駅北地区市街地再開発の公共施設について



竹内 裕 議員

質問 駅北地区市街地再開発の公共施設である図書館及びギャラリーについて、基本計画や駐車場、喫食コーナー、利用運営形態等について伺います。

整備部長 再開発事業は、平成29年度のオープンに向け、基本設計の作業を開始したところで、屋上緑化や太陽光発電の採用、また、バリアフリー

